

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374700256
事業所名	中央グループホーム和

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  ビルの3階にホームがあることから、外部との交流は大きなハンデとなっているが、地道に外出の機会を増やすことによって地域交流が進んできた。外出時に地域住民と挨拶を交わす場面が増えている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  毎偶数月に運営推進会議を開いており、規定の年間6回開催をクリアしている。毎回、行政機関（市役所担当課、地域包括支援センター）の職員や地域代表（区長、民生委員等）が参加し、家族代表や利用者代表を含めて有意義な意見交換を行っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）  市役所が目と鼻の先にあり、何かあればすぐにでも飛んで行ける距離である。運営会議には、市・福祉課の担当者や地域包括支援センターの職員が必ず出席しており、意思の疎通が図られている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  運営推進会議でも、統括責任者や管理者が家族の質問に丁寧に答えており、家族の意見を取り入れながらサービスの質の向上を目指そうとの意識がある。建物や構築物の老朽化によって修繕費等の上昇があり、利用料金の値上げを行った。利用者・家族の理解が得られており、トラブルに発展することはなかった。	評価 ○
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎				